

2018年3月期第2四半期決算説明会

2017年11月22日



NDKグループ

日本電設工業株式会社

I . 会社概要	2
II . 2018年3月期第2四半期決算概要	3
III . 部門別概況	10
IV . 2018年3月期業績予想	24
V . 日本電設3ヶ年経営計画2015	30

4本の柱で全国に事業展開

- 鉄道電気工事におけるリーディングカンパニー
- 技術と信頼で創立から75年
- JR東日本との強固な関係

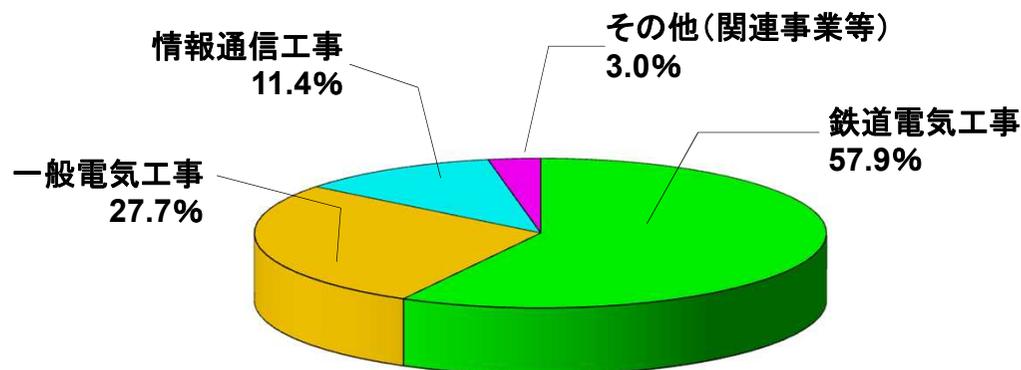
部門別売上高構成額

(単位:百万円)

4本の柱 (部門)	2018年3月期 第2四半期売上高	うち、JR東日本に 対する売上高
鉄道電気工事	27,898	23,866
一般電気工事	13,338	171
情報通信工事	5,495	2,849
その他(関連事業等)※	1,419	14
合計	48,151	26,901(55.9%)

※「その他(関連事業等)」とは、関連事業、ビル総合管理、資材等の販売、ソフトウェアの開発および電気設備の設計等

部門別売上高構成比率



Ⅱ. 2018年3月期第2四半期決算概要

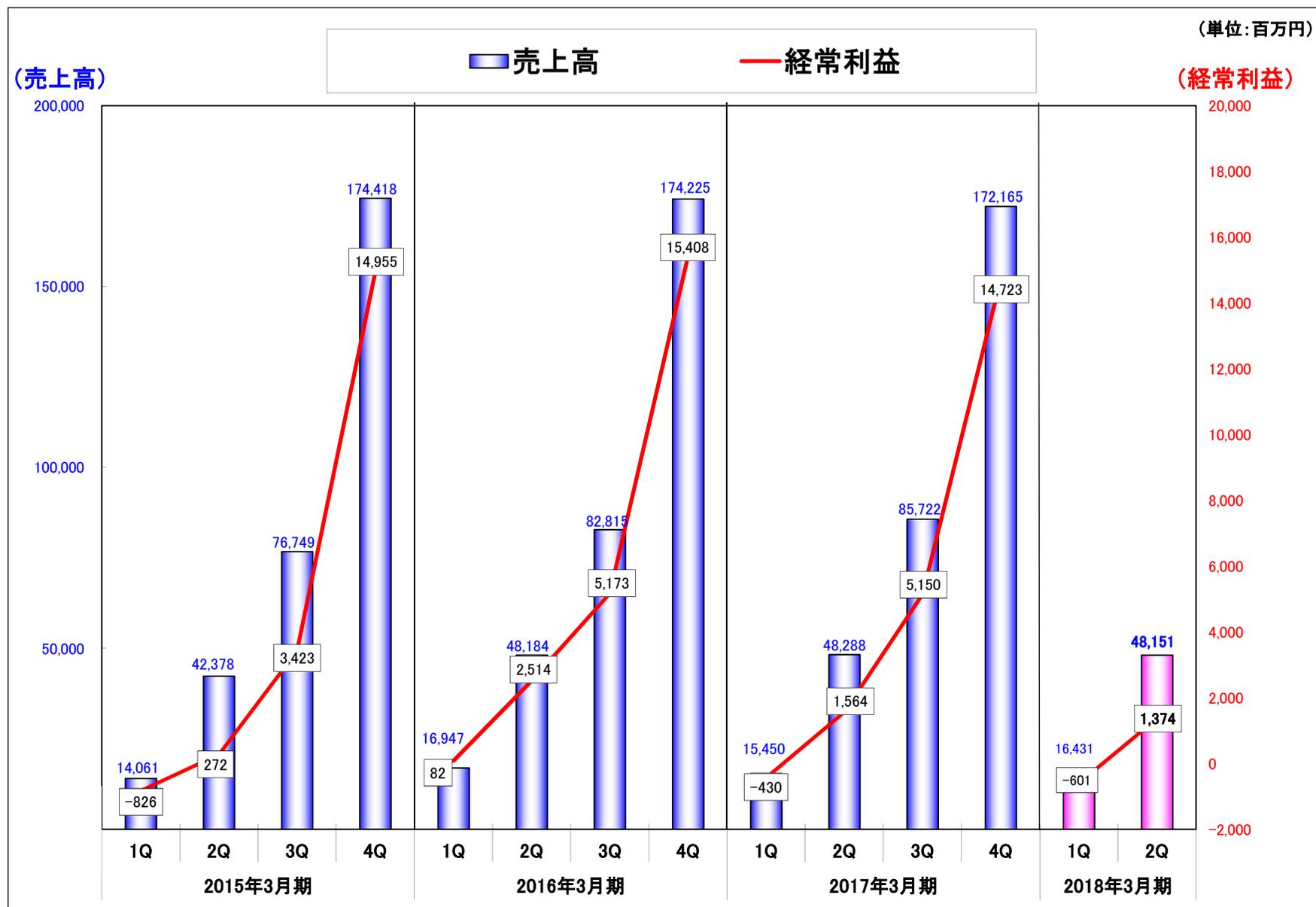
■ 決算のポイント 【受注は高水準を維持、利益は堅調】

- ・受注高676億円、売上高482億円、当期純利益6億円の前年同期比減収減益決算となるも、利益は堅調に推移し3期連続で第2四半期の黒字を確保
- ・下期繰越高は大幅に増加し、高水準を維持

(()は売上高比率、単位:百万円)

	2017年3月期第2四半期	2018年3月期第2四半期	前年同期比	
受注高	71,474	67,568	▲5.5%	▲3,906
売上高	48,288	48,151	▲0.3%	▲137
売上原価	(84.9%) 40,983	(85.3%) 41,051	0.2%	67
売上総利益	(15.1%) 7,305	(14.7%) 7,099	▲0.4P	▲205
販売費及び一般管理費	(12.6%) 6,101	(12.7%) 6,101	▲0.0%	▲0
営業利益	(2.5%) 1,203	(2.1%) 998	▲0.4P	▲205
営業外損益	(0.7%) 360	(0.8%) 375	4.3%	15
経常利益	(3.2%) 1,564	(2.9%) 1,374	▲0.3P	▲189
特別損益	(▲0.1%) ▲50	(0.2%) 115	—%	165
親会社株主に帰属する 当期純利益	(1.4%) 670	(1.2%) 600	▲0.2P	▲69
下期繰越高	154,007	165,446	7.4%	11,439

季節的変動の大きい業績動向



2018年3月期第2四半期実績

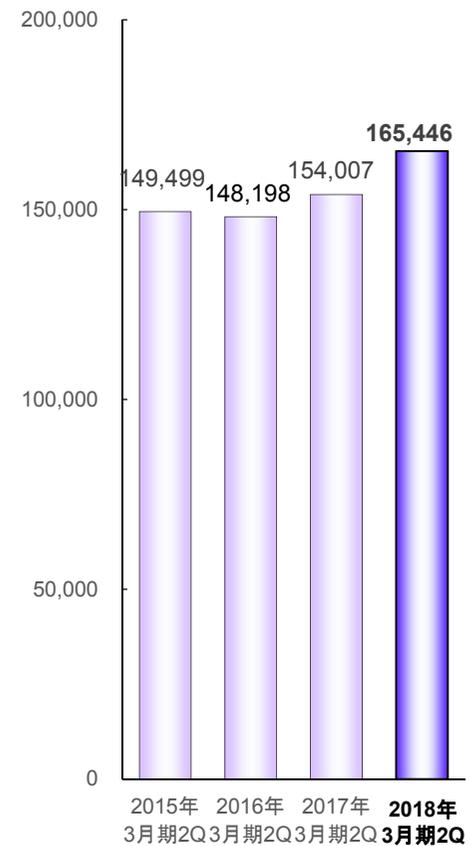
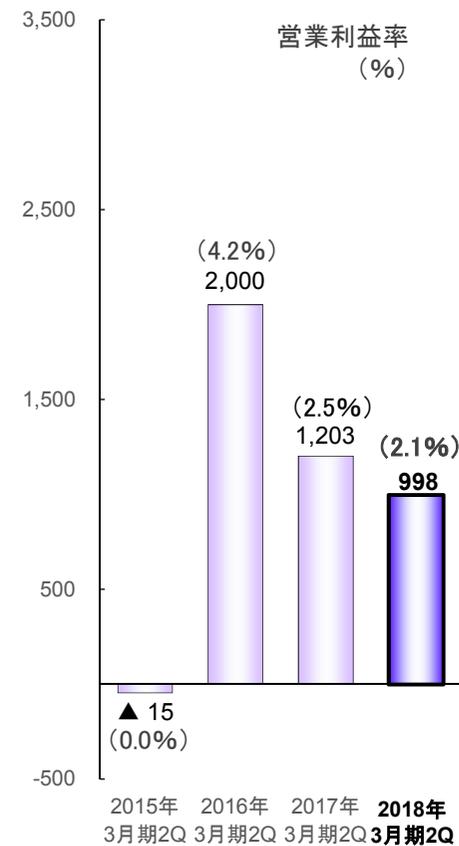
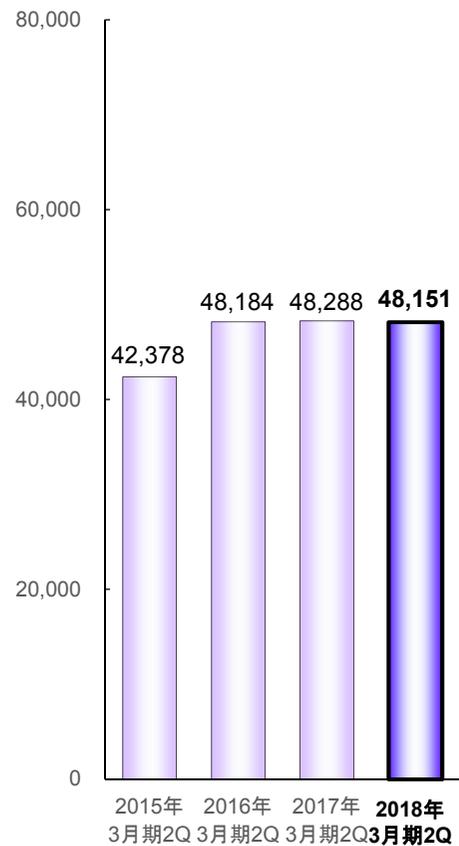
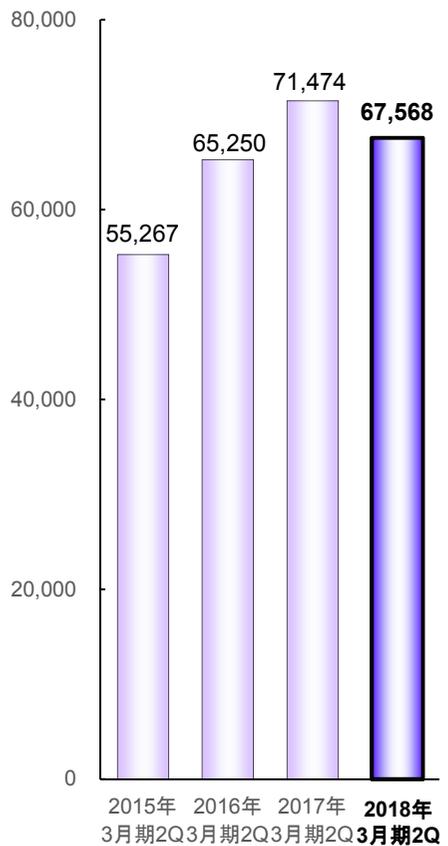
(単位:百万円)

受注高
 対前期比
▲39億円

売上高
 対前期比
▲1億円

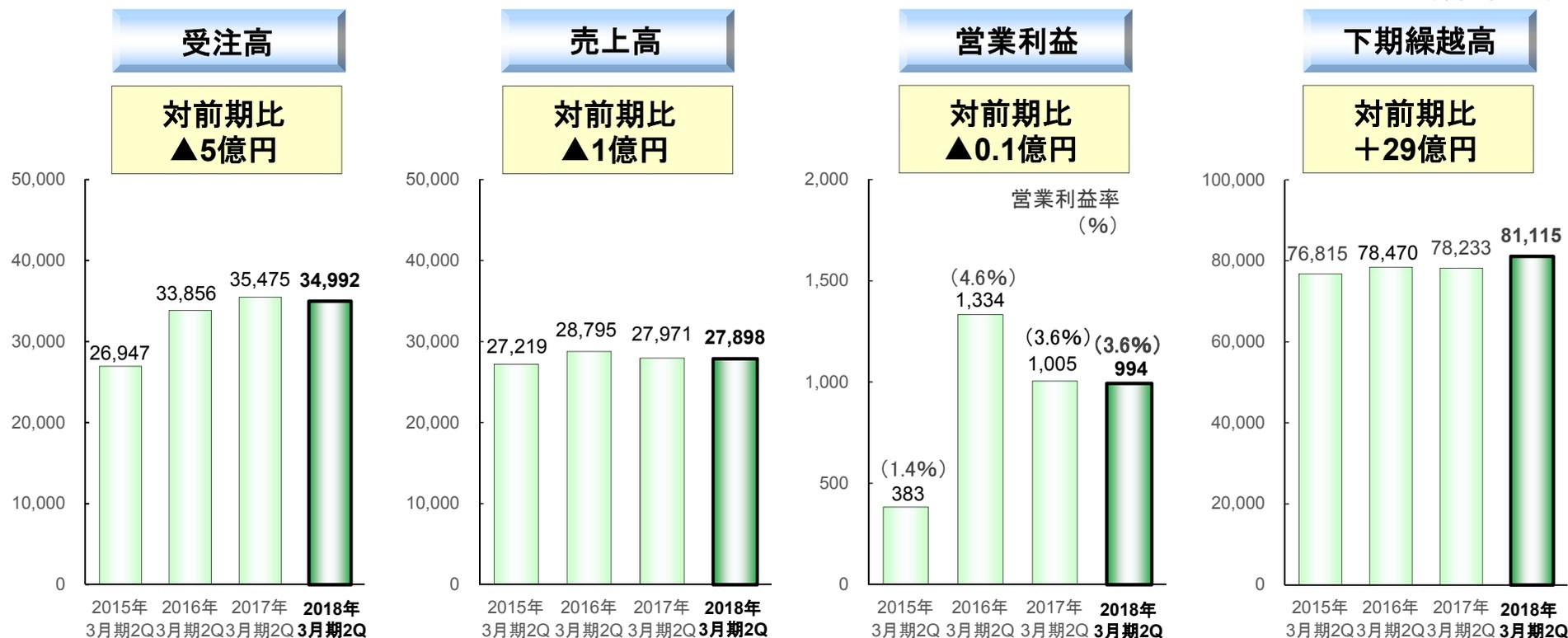
営業利益
 対前期比
▲2億円

下期繰越高
 対前期比
+114億円



鉄道電気工事の実績

(単位:百万円)

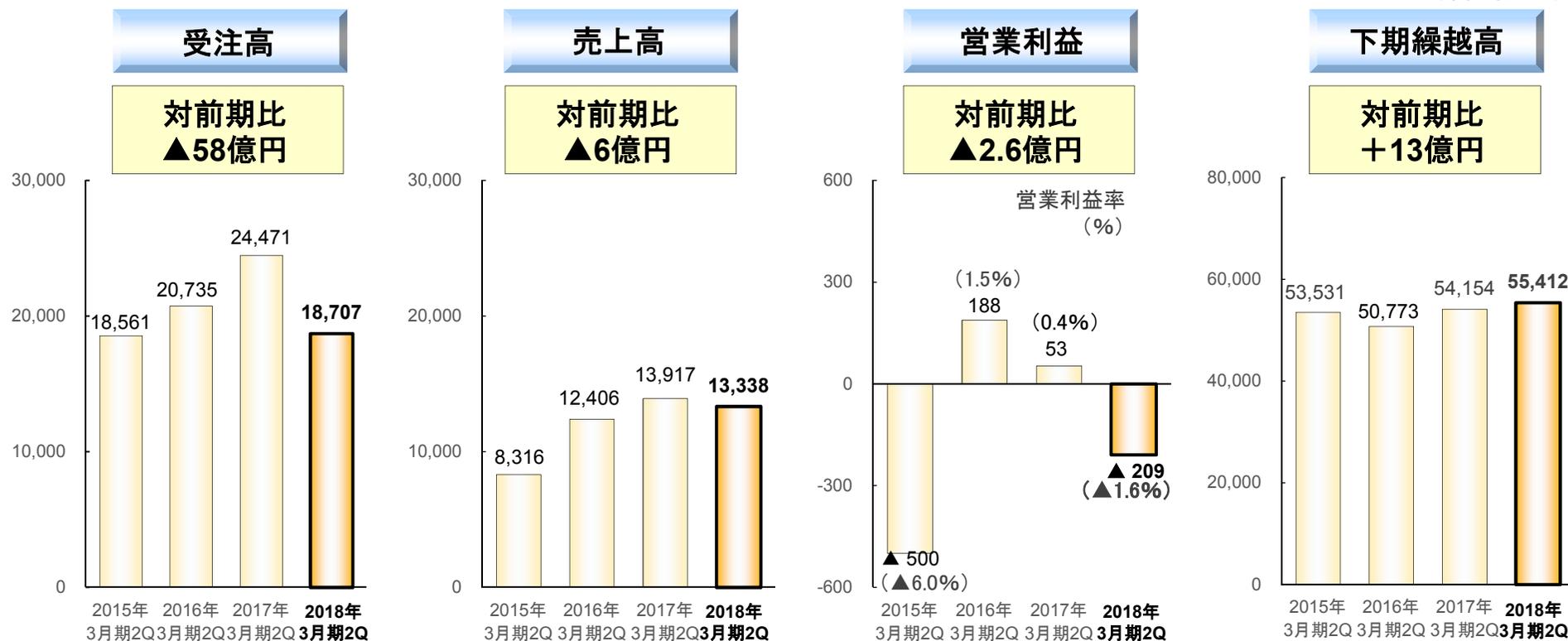


■決算のポイント

- ・受注高は高水準を維持し、JR各社からの受注は引き続き堅調
- ・売上高は施工が順調に推移し、前期並を確保
- ・営業利益は豊富な繰越工事を背景とした効率的な施工により前期並を確保
- ・下期繰越高は増加し高水準を維持

一般電気工事の実績

(単位:百万円)

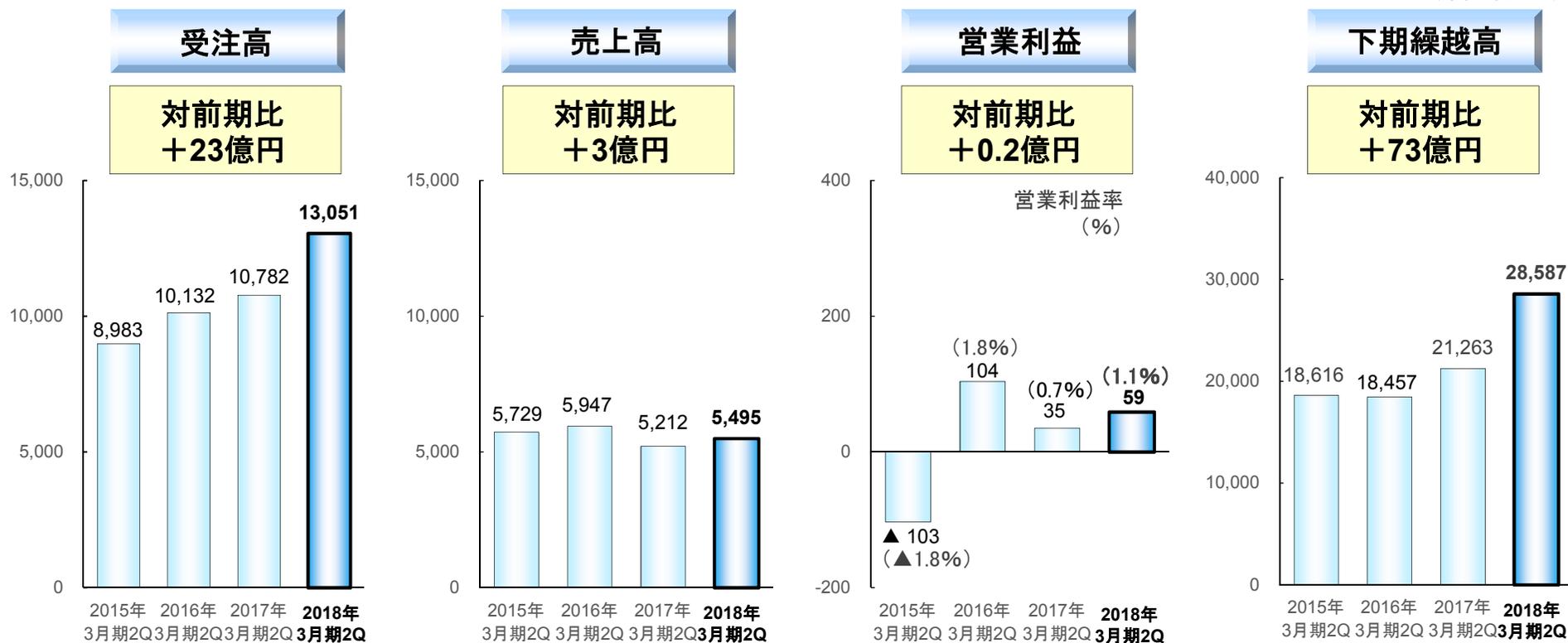


■決算のポイント

- ・受注高は前年上期に大型工事が集中した反動により大幅減
- ・売上高は大型工事の完成が少なかったものの前期並を確保
- ・営業利益は前年上期にあった利益率の高い大型工事の反動により減少
- ・下期繰越高は増加し高水準を維持

情報通信工事の実績

(単位:百万円)

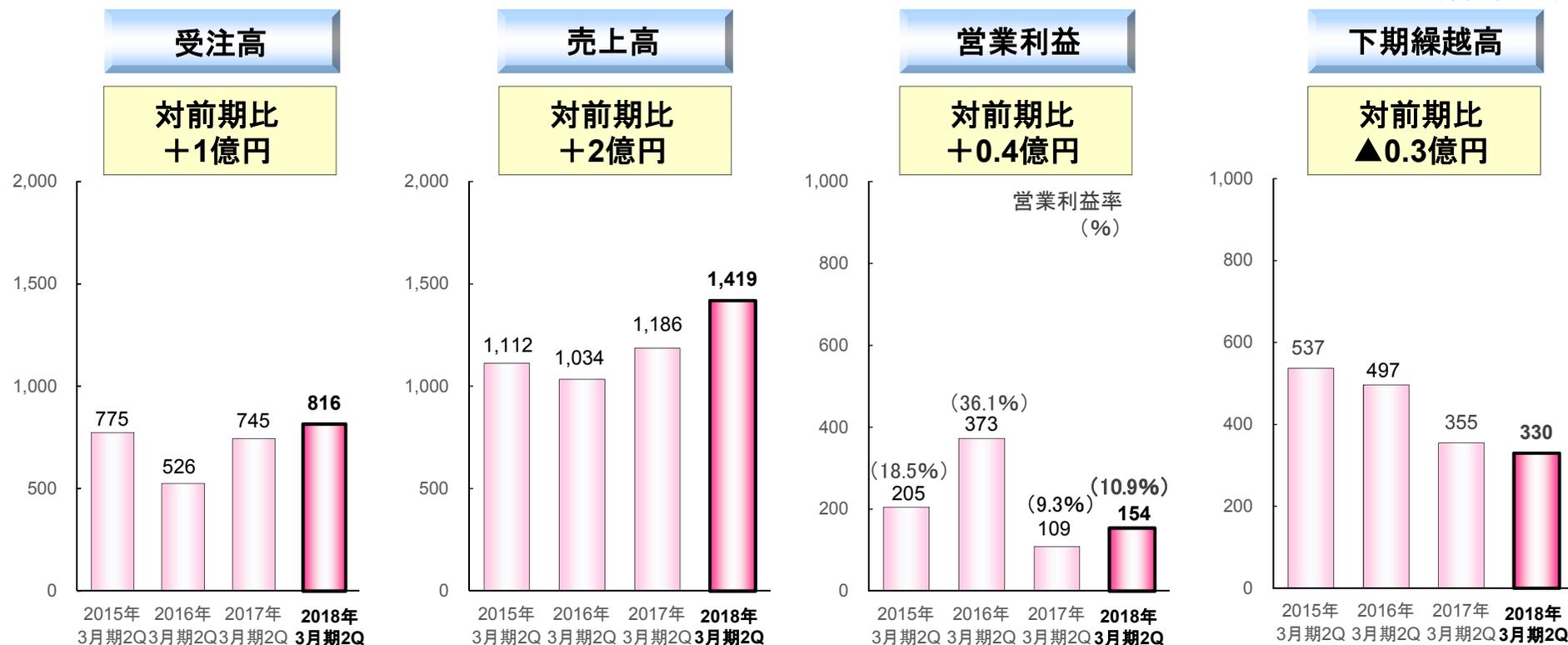


■決算のポイント

- ・受注高はJR東日本、民間および官公庁からの受注が好調なため大幅増
- ・売上高は民間への売上が好調だったため増加
- ・営業利益は売上高が増えたことに伴い増加
- ・下期繰越高は大幅に増加

その他(関連事業等)の実績

(単位:百万円)



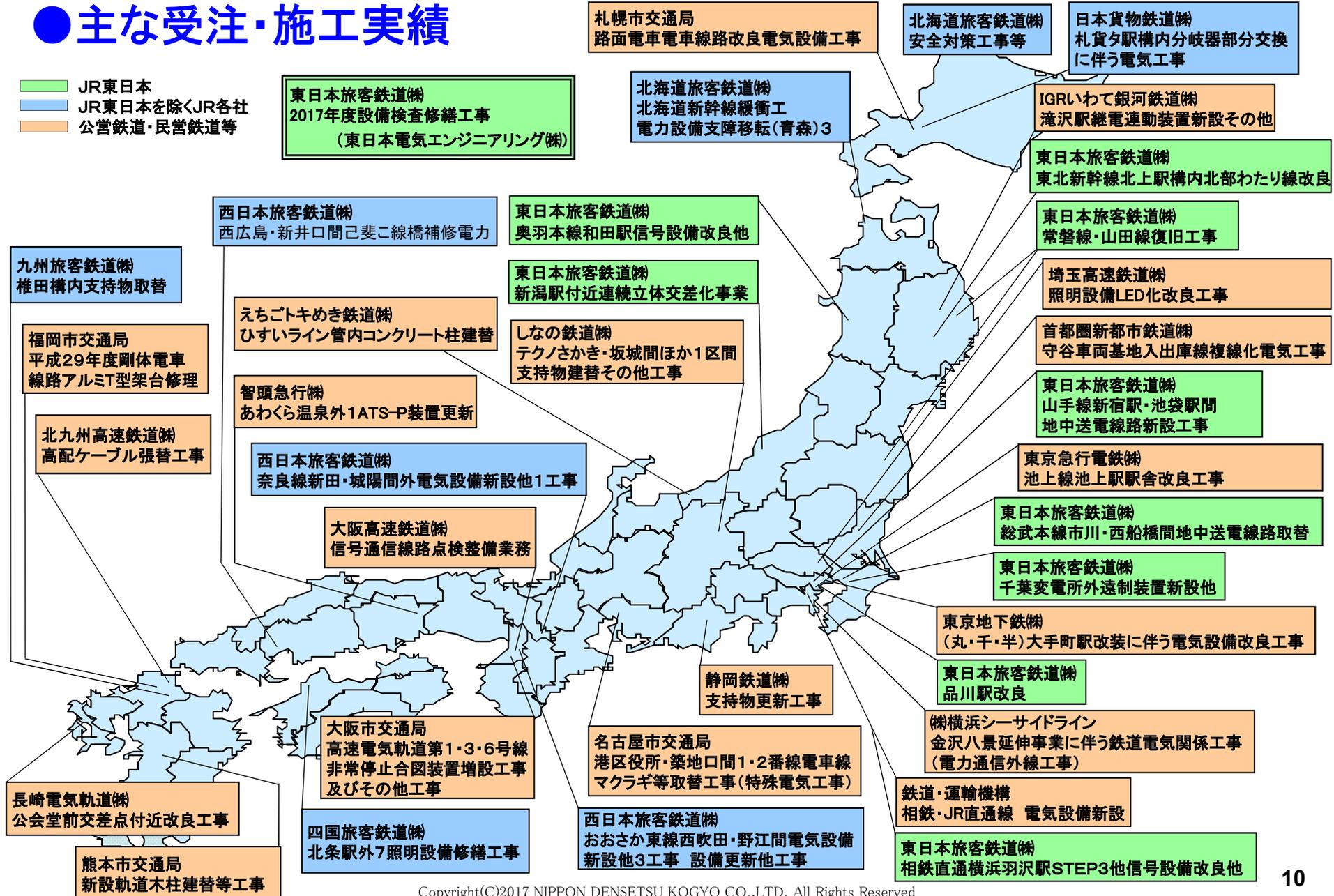
■決算のポイント

- ・売上高は調査・設計業務等の売上を増やすことができたため増加
- ・営業利益は売上増に伴い増加

※「その他(関連事業等)」とは、関連事業、ビル総合管理、資材等の販売、ソフトウェアの開発および電気設備の設計等
 ※不動産の賃貸・管理等は、受注生産を行っていないため、「受注高」には金額が含まれていない

● 主な受注・施工実績

- JR東日本
- JR東日本を除くJR各社
- 公営鉄道・民営鉄道等



●JR東日本プロジェクト工事

■常磐線・山田線災害復旧工事

東日本大震災の影響により運転を見合わせている常磐線を復旧する(2019年度末までの全線運転再開を目指す)。また、山田線(岩手県)においても復旧工事が進行中。

当社の関わり

震災により流出・倒壊した電化柱・駅舎・踏切・通信ケーブル等に関する電気設備の撤去ならびに新設工事を受注。

【運転再開済】広野～竜田間、浪江～浜吉田間

【施工中】富岡～浪江間(常磐線)、宮古～釜石間(山田線)



再建後の富岡駅構内



施工の様子

■品川駅周辺地区整備事業

品川車両基地の設備や車両留置箇所を見直すことで約13ヘクタールの用地が創出され、当該用地についてまちづくりの検討が進められている。

まちづくりの核として設置する新駅は、2020年春に暫定開業、また、2024年頃の街びらき時に本開業を予定している。

当社の関わり

線路切換に伴う次の工事を担当

【送電線】送電線路改良

【電車線】電車線路改良他

【電灯電力】高圧低圧配電線路・受変電設備改良他

【信号】信号機・ATC他設備改良他

【通信】通信線路・駅設備改良他



東日本旅客鉄道プレス資料より

■ 駅改良工事

昇降設備設置によるバリアフリー化や混雑緩和を目的としたコンコース拡幅などの駅サービス機能の強化、安全対策を目的としたホームドア設置、省エネ対応に伴う照明設備のLED化や受電設備等の改良工事を行う。

施工中の主な駅

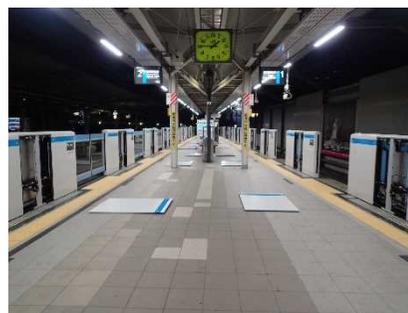
東京駅・品川駅・新宿駅・上野駅・横浜駅・御茶ノ水駅・浦和駅・武蔵溝ノ口駅 他



横浜駅照明設備工事



武蔵溝ノ口駅水素発電機設置工事



浦和駅ホームドア電気設備工事



品川駅電力設備工事

■ 東京2020オリンピック・パラリンピックに向けて

競技会場周辺の駅や乗換駅等で改札口やコンコース拡張およびバリアフリー設備の拡充等の駅改良工事を進められており、当社も各種工事を施工している。今後、本格的に計画が進行することから、営業活動を強化していく。

計画されている主な駅

千駄ヶ谷駅・原宿駅・有楽町駅・新橋駅・新木場駅 他



原宿駅 完成予想図



新木場駅 完成予想図



東日本旅客鉄道プレス資料より

■その他のプロジェクト工事

【埼京線無線式列車制御システム工事(ATACS)】



2017年11月4日使用開始

【新潟駅付近連続立体交差化事業】



【試験用電力貯蔵装置新設工事 (内房線 大貫変電所)】



● 公民鉄工事

受注拡大に向けて公民鉄事業者から工事計画の情報収集と営業戦略の策定を行い全国的に営業展開している。

受注・売上高実績

(単位: 億円)

		2015年 3月期	2016年 3月期	2017年 3月期	2018年 3月期
受注高	第2 四半期	18	40	37	43
	通 期	59	83	71	—
売上高	第2 四半期	10	14	17	15
	通 期	52	77	85	—



東京急行電鉄(株) 池上線
池上駅駅舎改良工事



横浜シーサイドライン 金沢八景
延伸事業に伴う鉄道電気関係工事
(電力通信外線工事)

■ 相鉄・JR直通線、相鉄・東急直通線

相鉄本線西谷駅からJR東海道貨物線横浜羽沢駅を
 経由し、相鉄線とJR線・東急線の相互直通運転を行うプ
 ロジェクトであり、当社は鉄道・運輸機構から発注された
 相鉄・JR直通線の全業種(電車線・電灯電力・通信・信
 号)の工事や各鉄道事業者が発注する接続線新設工事
 等を施工している。

当社の関わり

【電車線】 電車線路改良他

【電灯電力】 配電線路、電力設備他

【通信】 通信線路設備、列車無線設備、通信設備他

【信号】 信号線路設備、信号機、連動装置他



一般電気工事の概況

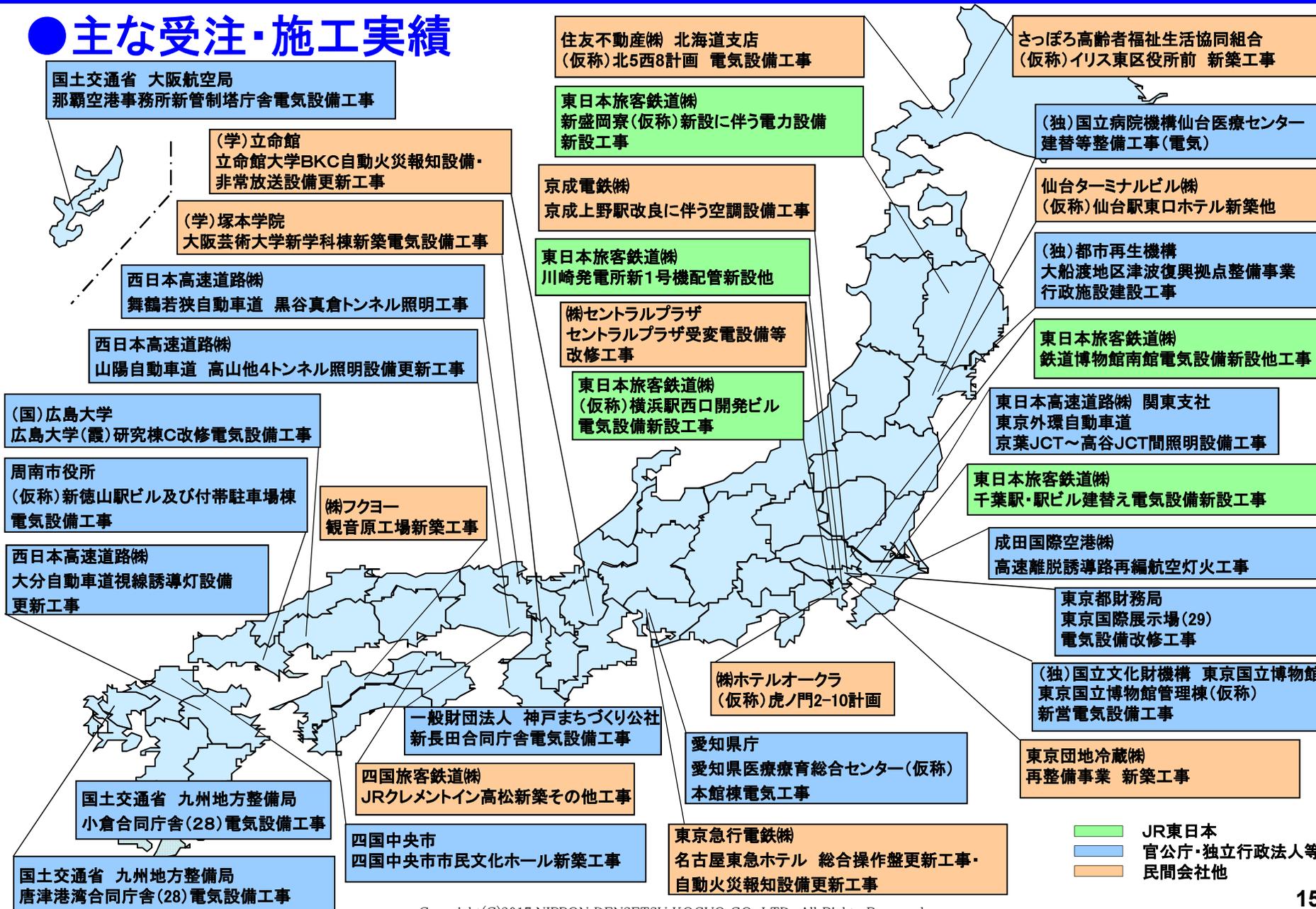


2018年3月期 第2四半期

日本電設工業グループ

NDKグループ

● 主な受注・施工実績



■ JR東日本
■ 官公庁・独立行政法人等
■ 民間会社他

●主なプロジェクト工事

【(仮称)横浜駅西口開発ビル
電気設備新設工事】



2020年完成予定 東日本旅客鉄道株式会社プレス資料より

【独立行政法人国立病院機構仙台医療センター
建替等整備工事(電気)】



2019年春完成予定

【千葉駅・駅ビル建替え電気設備新設工事】



2018年夏以降 駅ビル全面開業予定

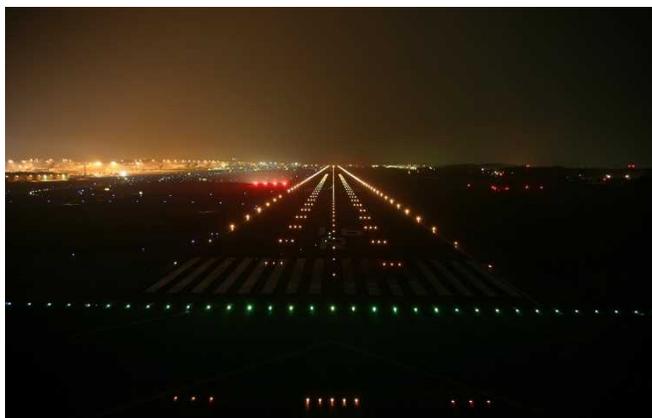
【愛知県医療療育総合センター(仮称)本館棟電気工事】



2018年12月完成予定

愛知県HPより

【成田国際空港(株) 高速離脱誘導路再編航空灯火工事】



2019年12月完成予定 写真提供:成田国際空港株式会社

【東京国際展示場(29)電気設備改修工事】



2019年2月 完成予定 東京ビッグサイトHPより

【東京団地冷蔵株式会社 再整備事業 新築工事】



2018年2月完成予定 東京団地冷蔵HPより

【セントラルプラザ受変電設備等改修工事】



2019年3月完成予定

一般電気工事の概況

【東京外環自動車道 京葉JCT～高谷JCT間照明設備工事】



東日本高速道路株式会社HPより

【山陽自動車道 高山他4トンネル照明設備更新工事】



西日本高速道路株式会社関西支社管内安全協議会
2017年度優良事業所表彰 受賞

空調・衛生工事

【京成上野駅改良に伴う空調設備工事】



2019年3月完成予定

【川崎発電所新1号機配管新設他】



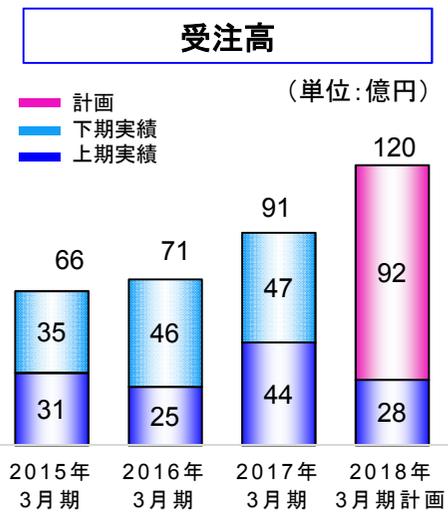
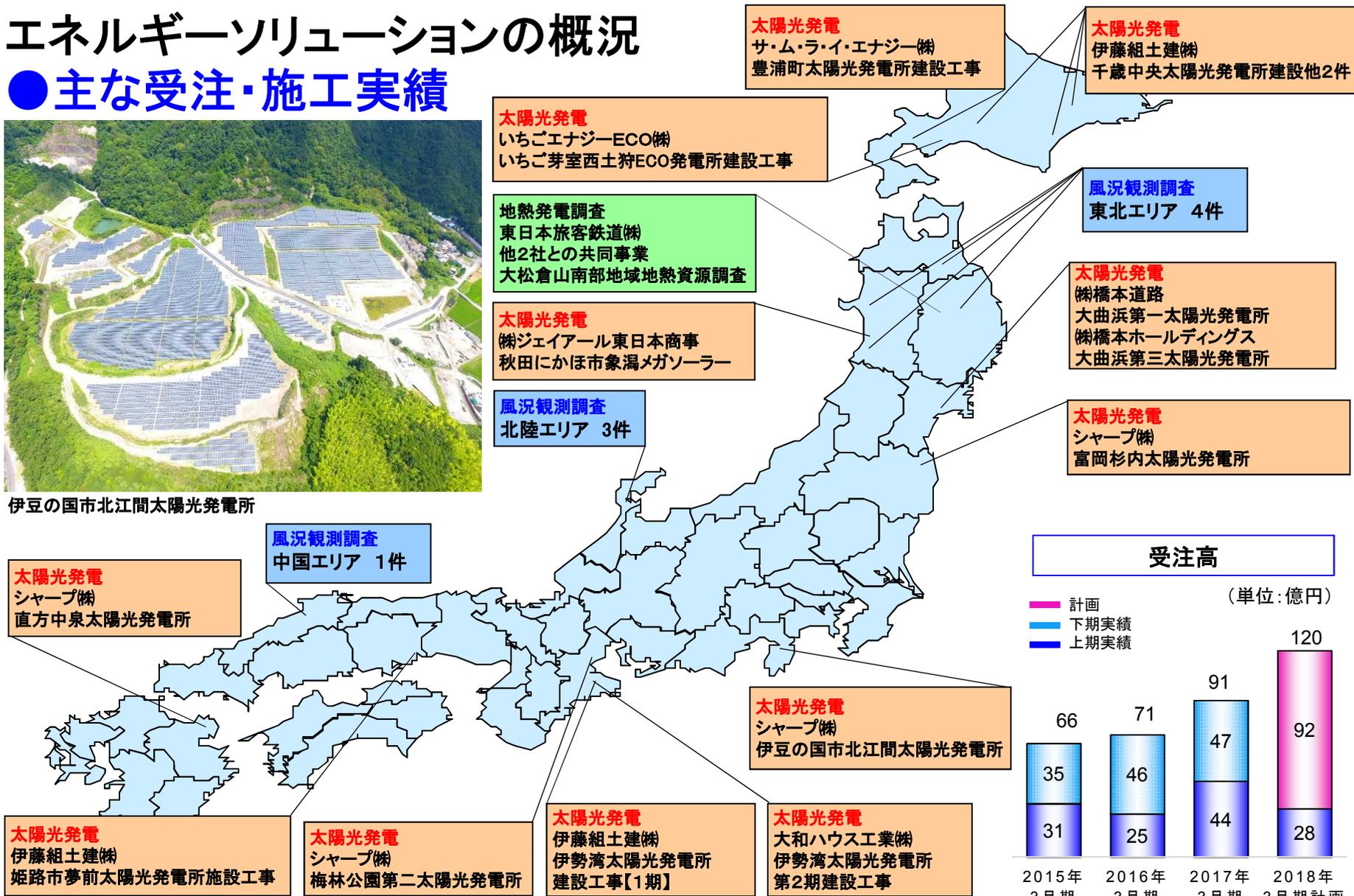
2021年運転開始予定

エネルギーソリューションの概況

● 主な受注・施工実績



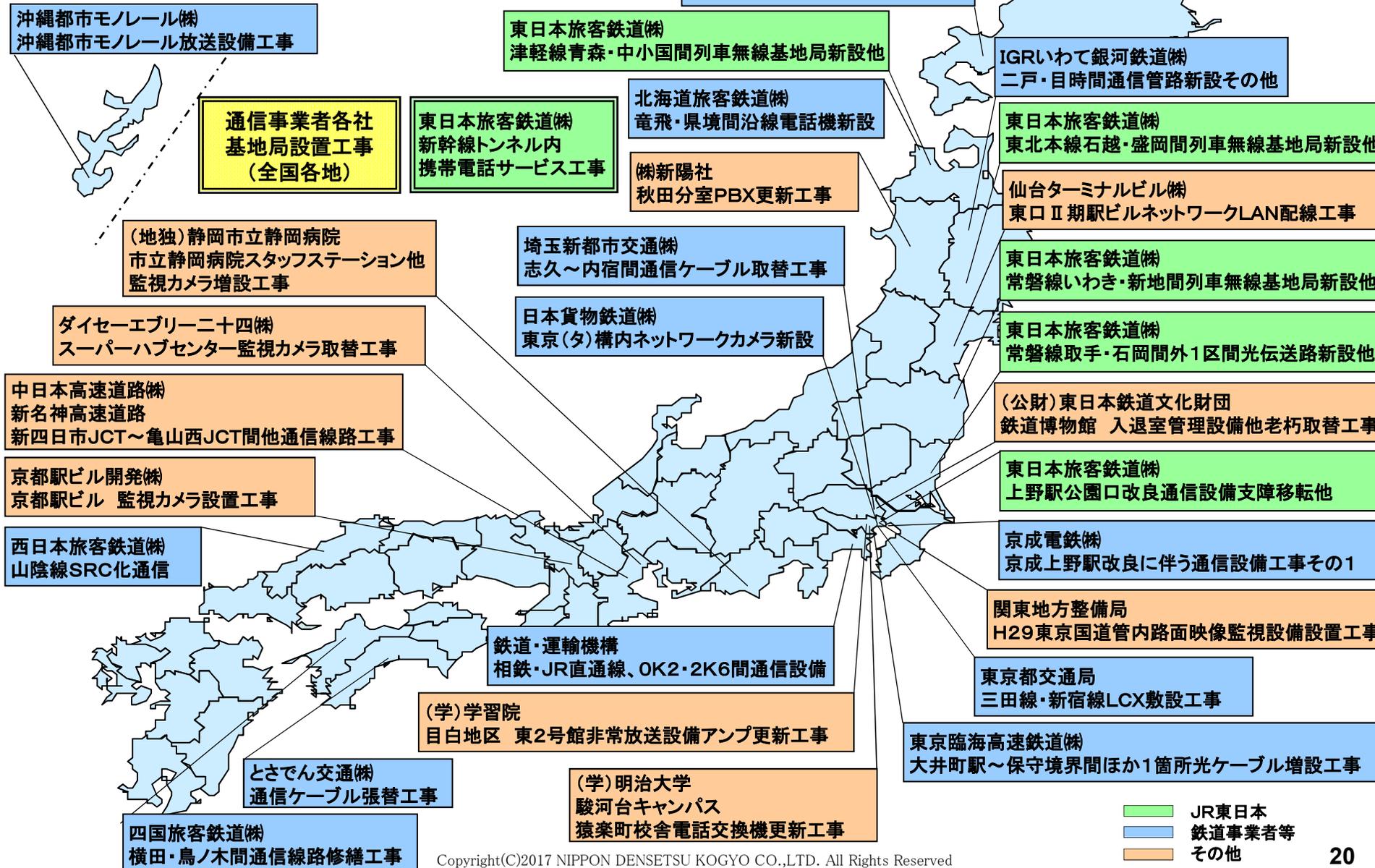
伊豆の国市北江間太陽光発電所



情報通信工事の概況

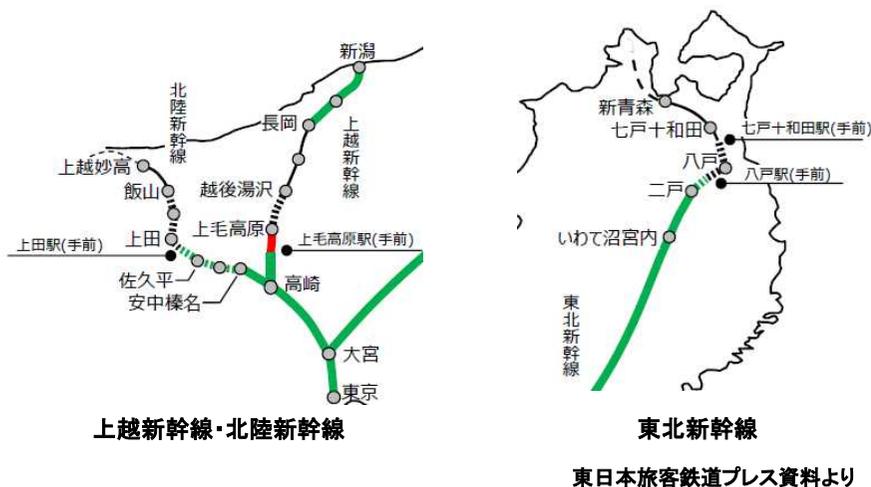


● 主な受注・施工実績



●新幹線トンネル内 携帯電話サービス工事

—	トンネル内携帯電話サービス中※
—	2017年10月6日からトンネル内携帯電話サービス開始
⋯⋯⋯	2017年度内トンネル内携帯電話サービス開始予定（施工中）
⋯⋯⋯	サービス開始時期未定（施工中）
—	サービス開始時期未定（未実施）



●都営三田線・新宿線等LCX工事

列車無線方式のデジタル化に向けて、三田線26.5キロ、新宿線23.5キロの漏洩同軸ケーブル(LCX)敷設関連工事等を施工中

●子ども見守りサービス 「まもレール」システム

お子様が対象駅の改札機を通過すると、保護者の携帯端末に利用駅・通過時刻等が通知されるシステムを山手線・中央線で施工

※2018年春までに順次エリアを拡大予定



サービス対象予定駅(首都圏244駅)

東日本旅客鉄道プレス資料より

●新名神高速道路 新四日市JCT～亀山西JCT間他 通信線路工事

光ケーブル敷設および非常電話
機の設置などの通信工事を施工中

光ケーブル・・・約90km
非常電話設備・・・約120基



NEXCO中日本 ホームページより

●次世代WiMAX (WiMAX2+)基地局工事

超高速ブロードバンドサービスと
なる次世代WiMAX(WiMAX2+)
の基地局工事について、全国の鉄
道沿線対策等を施工中



UQコミュニケーションズプレス資料より

●保有不動産を有効活用した 賃貸マンション・賃貸オフィス事業

全国の主要都市で19棟・398戸の賃貸マンションを運営
 (入居率95%)



ロータス北大前(北海道札幌市)
2017年1月完成



ロータス二葉の里(広島県広島市)
2018年2月完成予定

賃貸不動産売上高	2017年3月期	2018年3月期
第2四半期	483百万円	495百万円
通期	962百万円	1,021百万円(計画)

●新規事業

保有不動産の新たな活用方法の開発

- ・立地の特性、市場性を踏まえた戦略的活用による
不動産価値の向上

物品販売等における新規事業の開発

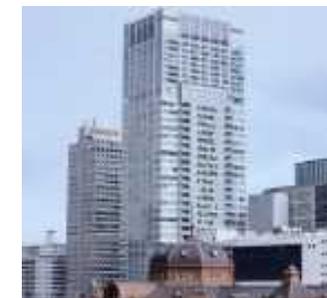
- ・JR東日本グループ会社との連携による調達・販売
システムの事業スキーム開発と推進

●電気保安事業の拡大

当社施工物件等のお客様への提案営業の推進
 (NDK総合サービス㈱)



東京ステーションホテル
受変電設備点検業務



サピアタワー
受変電設備点検業務

●太陽光発電事業の運営

設置場所	北海道 白老町	栃木県 宇都宮市	神奈川県 平塚市
発電規模	1,250kW	30kW	33kW
事業開始	2013年11月	2014年7月	2015年12月

2017.3実績			
売電量	1,647,851kWh/年	43,294kWh/年	44,485kWh/年
売上高	65.9百万円	1.6百万円	1.4百万円



日本電設白老町川沿ソーラーファーム



NDK平塚ビル屋上

IV. 2018年3月期業績予想

■ 業績予想のポイント【受注・売上・利益ともに過去最高を目指す】

高水準に推移している受注高の確保を推進するとともに、豊富な手持工事を確実に施工していくことで売上高の大幅拡大を図る。

高い経常利益率を維持して、過去最高となる当期純利益96億円を目指す。

(())は売上高比率、単位：百万円

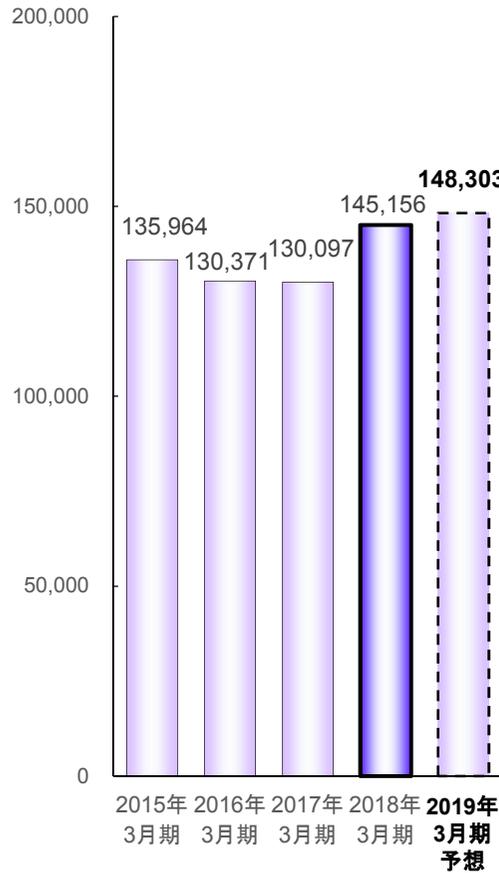
	2017年3月期	2018年3月期予想	対前期比	
期首繰越高	130,097	145,156	11.6%	15,059
受注高	185,706	186,700	0.5%	993
売上高	172,165	185,200	7.6%	13,034
売上原価	(84.4%) 145,321	(85.1%) 157,610	8.5%	12,289
売上総利益	(15.6%) 26,843	(14.9%) 27,590	0.7P	746
販売費及び一般管理費	(7.6%) 13,032	(6.9%) 12,760	▲2.1%	▲272
営業利益	(8.0%) 13,811	(8.0%) 14,830	0.0P	1,018
営業外損益	(0.5%) 912	(0.4%) 710	▲22.2%	▲202
経常利益	(8.6%) 14,723	(8.4%) 15,540	▲0.2P	816
特別損益	(▲0.1%) ▲94	(-) —	-P	94
親会社株主に帰属する 当期純利益	(5.3%) 9,126	(5.2%) 9,630	▲0.1P	503

2018年3月期業績予想

(単位:百万円)

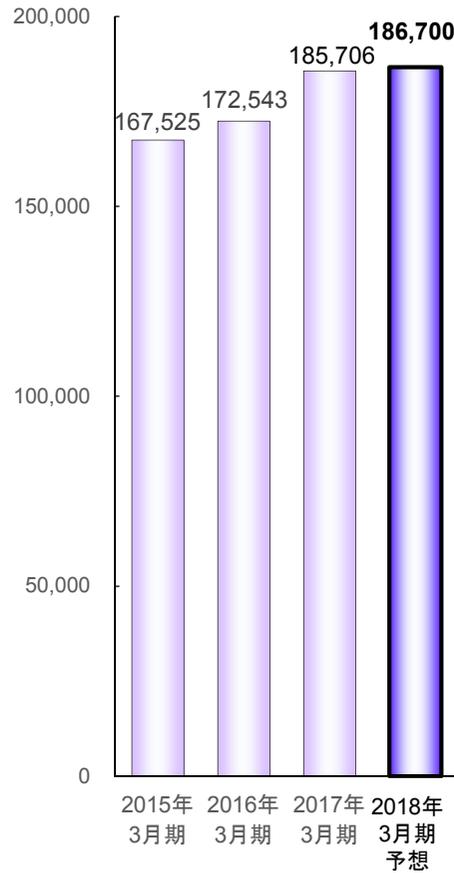
期首繰越高

対前期比
+151億円



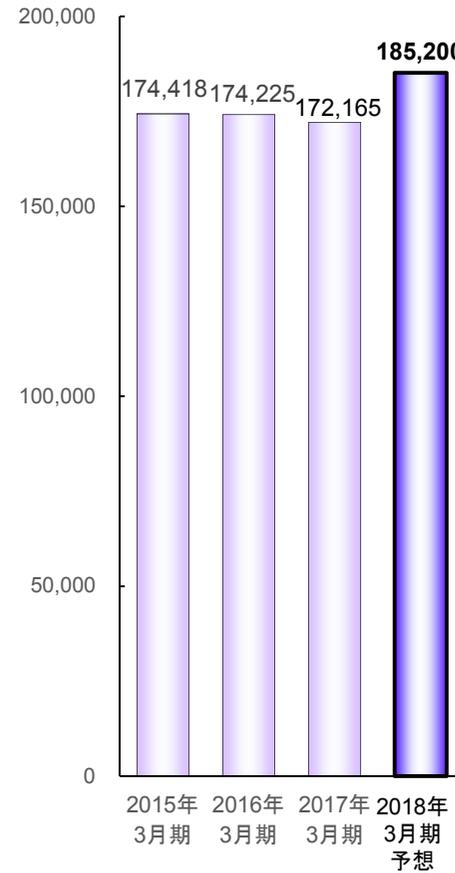
受注高

対前期比
+10億円



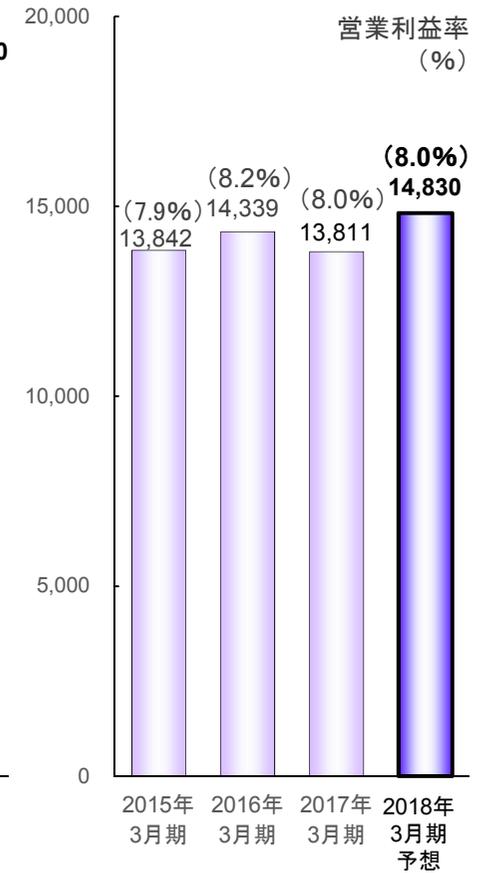
売上高

対前期比
+130億円



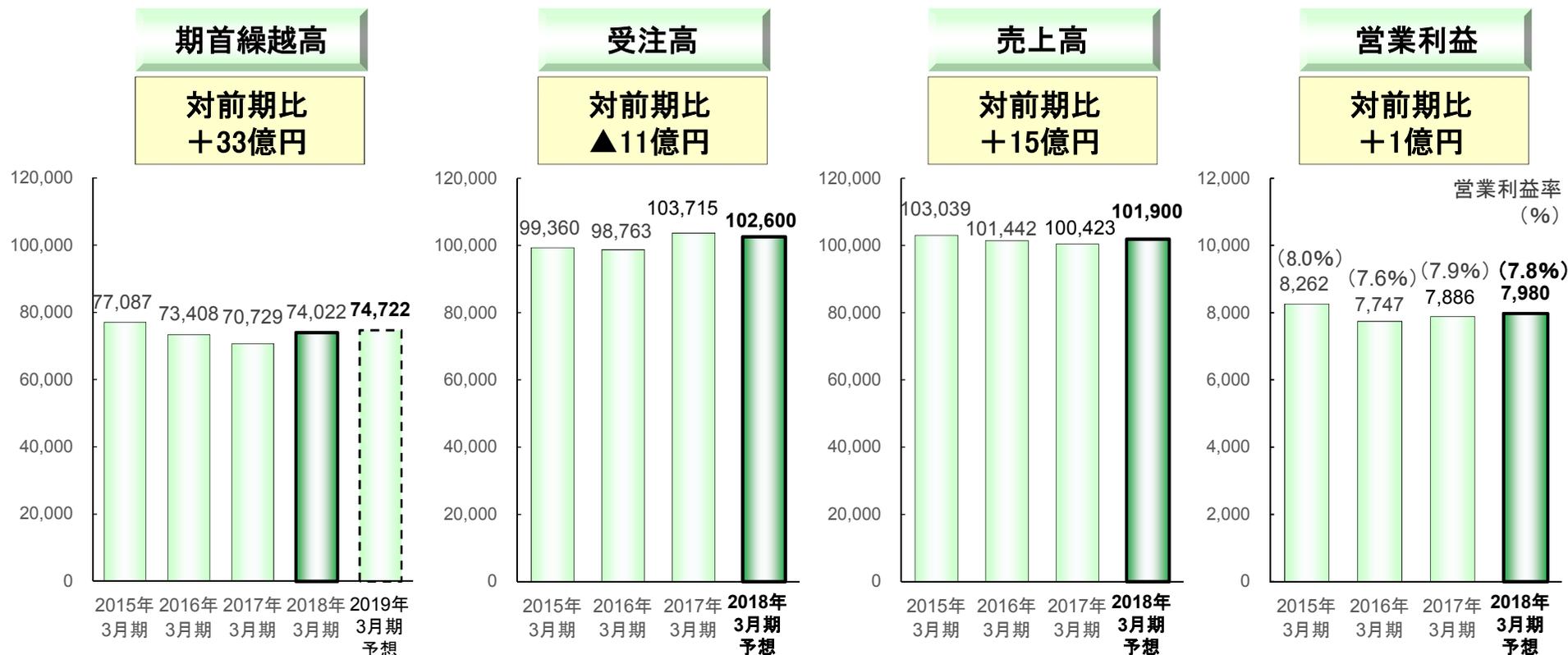
営業利益

対前期比
+10億円



鉄道電気工事の予想

(単位:百万円)

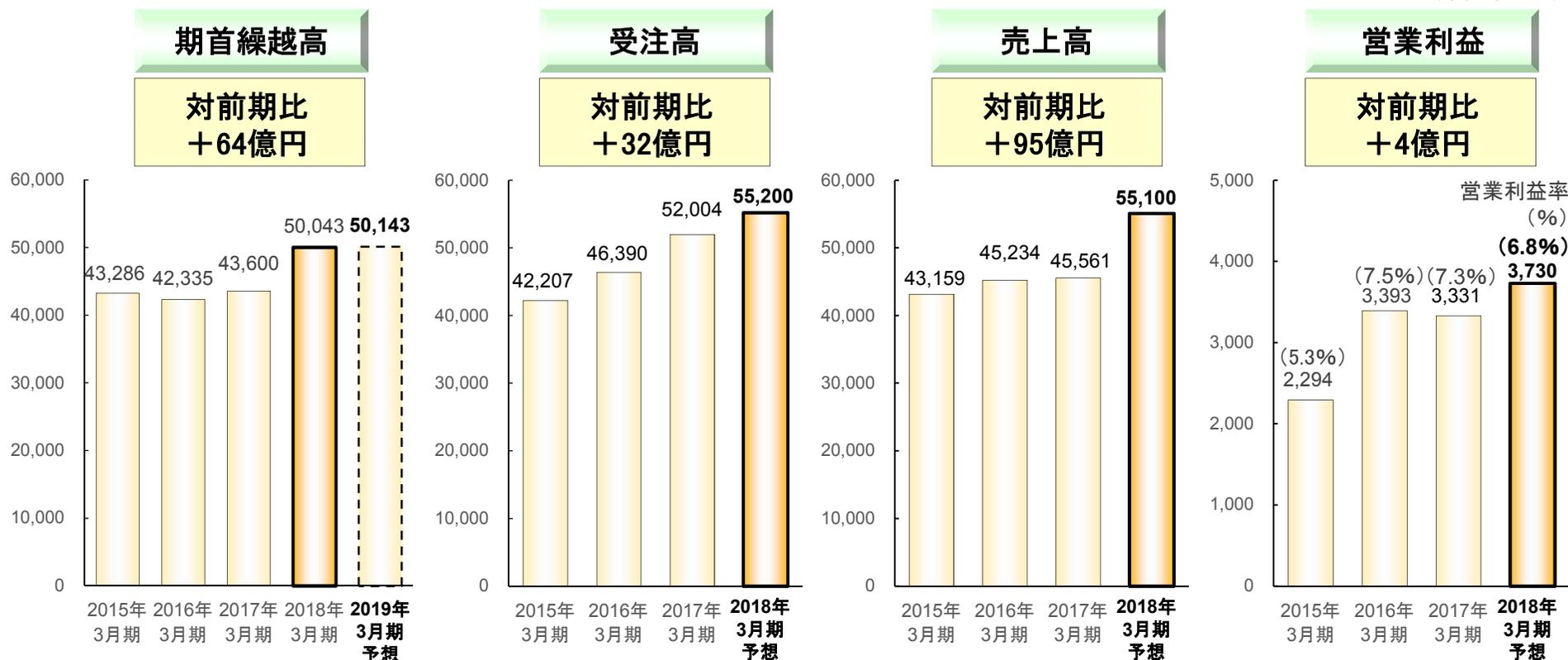


■業績予想のポイント

JR各社および公民鉄事業者へのさらなる営業展開により受注高を確保し、豊富な手持工事の効率的かつ確実な施工により売上高の拡大と高水準の利益率維持を目指す。

一般電気工事の予想

(単位:百万円)

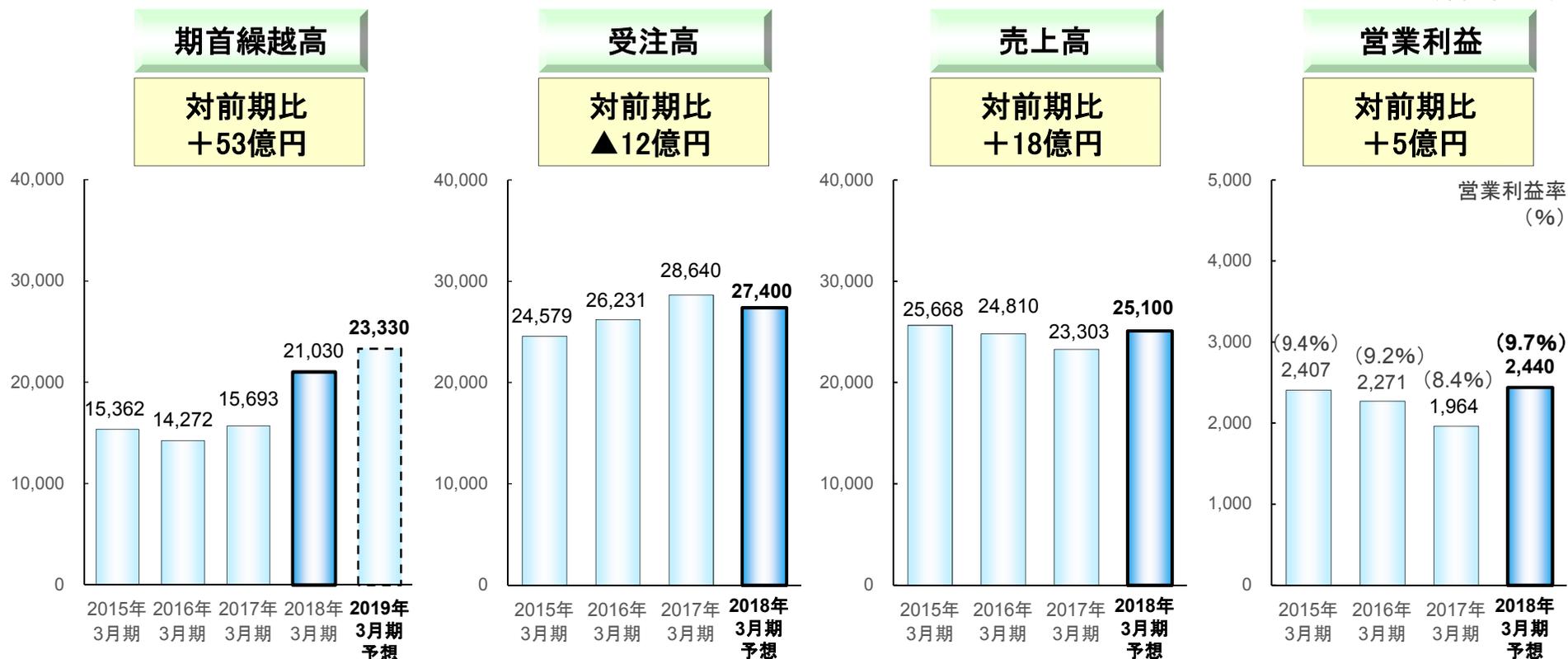


業績予想のポイント

下半期の受注高確保を推進し計画達成を目指すとともに豊富な手持工事の効率的かつ確実な施工により売上高の確保と利益の拡大を目指す。

情報通信工事の予想

(単位:百万円)

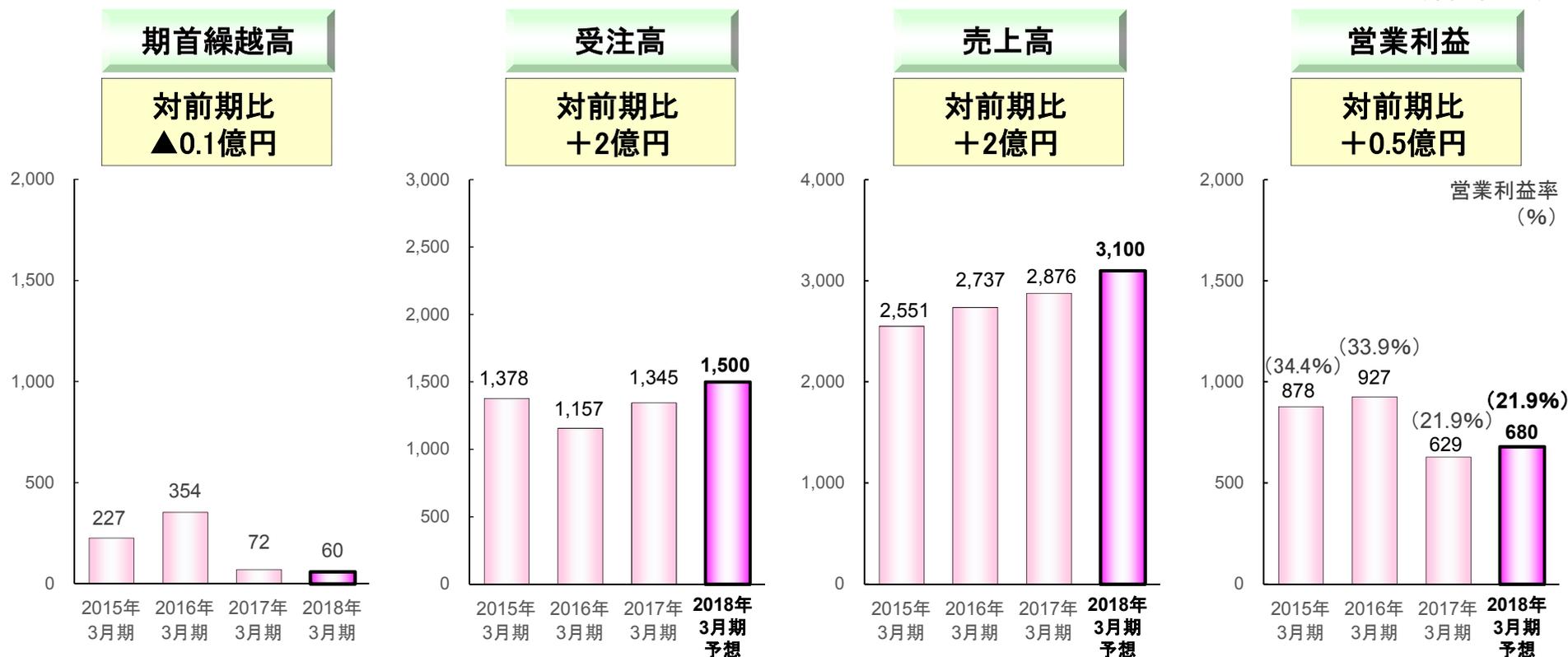


■業績予想のポイント

上半期好調であったJR、公民鉄および高速道路関連工事の受注確保に注力し、豊富な手持工事の確実かつ効率的な施工により売上高と利益の拡大を目指す。

その他(関連事業等)の予想

(単位:百万円)



■業績予想のポイント

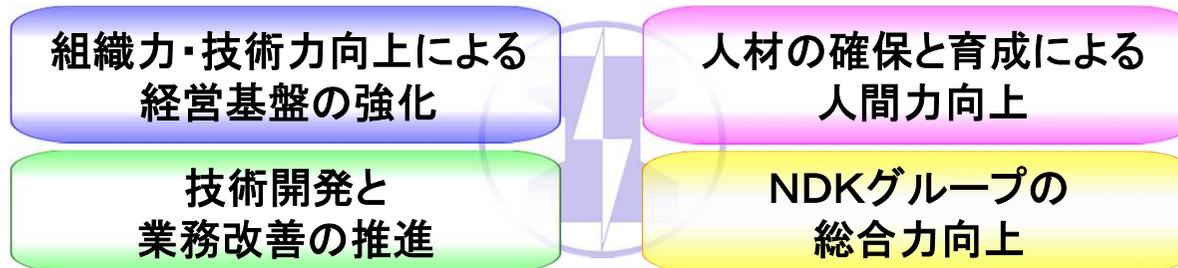
安定した売上と利益の確保が見込まれる賃貸マンションの新築や物品販売等の新規事業の創出に注力し売上増を目指す。

※「その他(関連事業等)」とは、関連事業、ビル総合管理、資材等の販売、ソフトウェアの開発および電気設備の設計等
※不動産の賃貸・管理等は、受注生産を行っていないため、「受注高」には金額が含まれていない

V. 日本電設3ヶ年経営計画2015

■ 4つの重点実施テーマの着実な実施により、当計画の最終年度として経営目標を達成し持続的成長を目指す。

◇ 重点実施テーマ ◇



(単位:億円)

	2016年3月期		2017年3月期		2018年3月期
	予想	実績	予想	実績	予想
受注高	1,711	1,725	1,767	1,857	1,867
売上高	1,777	1,742	1,781	1,722	1,852
営業利益	135	143	141	138	148
経常利益	143	154	148	147	155
営業利益率	7.6%	8.2%	7.9%	8.0%	8.0%
経常利益率	8.1%	8.8%	8.3%	8.6%	8.4%

※2017年4月28日に公表した業績予想は、公表時点で入手している情報により作成したものです。今後の受注動向等により業績予想の修正が必要となった場合には、速やかに公表します。

※当社では、中期経営計画以外に単年度の経営計画を策定しており、2018年3月期の予想については、2017年3月期の業績等を考慮し策定しました。

■ 2018年3月期の重点施策

次期3ヶ年に向けて持続的成長への経営基盤を確実なものとするため、経営環境の変化を踏まえて以下の項目を重点的に取り組むべき課題として2018年3月期の施策計画に反映させ、経営目標の達成を目指します。

- ・技術力および施工能力の向上
- ・新規顧客の開拓および従来施策の発展的展開による受注基盤の強化
- ・働き方改革に向けた取り組みの推進
- ・自ら考え判断し、行動できる社員作りと協働できる職場風土作り

■ 2018年3月期各部門の主な取り組み

鉄道電気工事

- ・JR東日本への対応強化
- ・公民鉄事業者に対する技術支援および提案営業の推進
- ・協力会社の施工能力向上への支援・指導等による関係強化

一般電気工事

- ・採算性を重視した営業戦略による新規顧客の開拓
- ・緊密な協力会社の規模拡大、技術力向上への支援強化
- ・再生可能エネルギー工事、空調衛生工事の受注拡大

情報通信工事

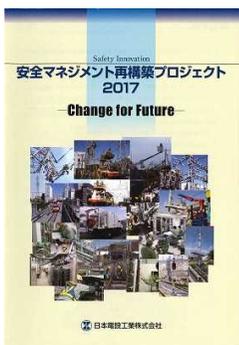
- ・ネットワーク工事の提案営業強化、官公庁工事への積極的な入札参加
- ・鉄道関連施設における優位性を生かした組織的な営業展開

■ 次期3ヶ年経営計画「日本電設3ヶ年経営計画2018」を策定中

主な取り組み施策

◇安全

- ◇安全は会社経営上の最重要課題
- ◇安全マネジメント再構築プロジェクト



安全マネジメント再構築プロジェクト2017冊子



安全推進実行計画2017

◇働き方改革・生産性向上

- ◇「働き方改革推進委員会」による改善
- ◇業務改善・技術開発・ICT活用等の推進



働き方改革推進委員会



業務改善提案活動発表会

◇技術力・技能の向上

- ◇社員および協力会社社員の技術教育の充実
- ◇協力会社の若手社員の育成と資格取得の支援



電車線実習



中央学園(千葉県柏市)

◇施工体制強化

- ◇空調・衛生工事会社のグループ会社化
- ◇協力会社の関係強化と新規開拓



(株)石田工業所(福島県郡山市)
グループ会社化(100%子会社)



協力会社との点呼風景

◇技術開発

●機械化施工の推進

【重量物運搬架台の開発】

特許出願中

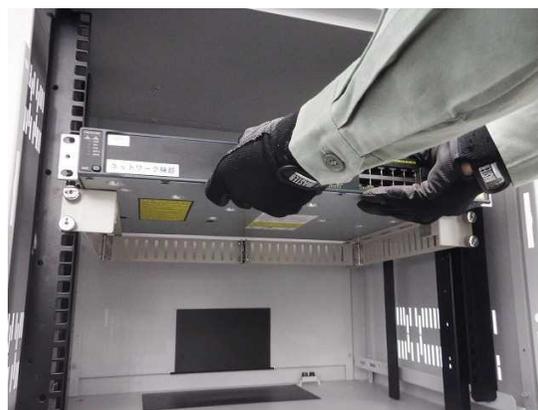


ブレーキ付トロ2台を活用した運搬架台を開発。

軌道内の重量物運搬の効率化を実現(重量ベースで従来比2倍強)。

●作業の効率化

【19インチラック機器搭載軽量型補助ステーの開発】



開発した補助ステーを使用することで1名での作業を可能にして効率化を実現(従来は2名で作業)。

◇技術開発

●作業の安全

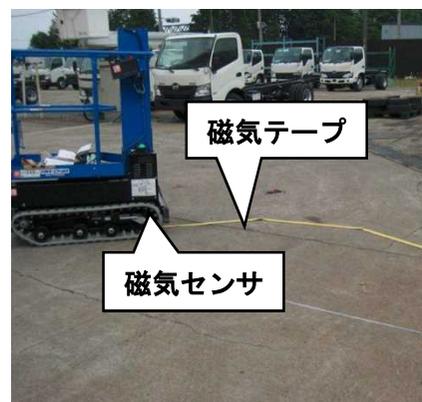
【工具置き忘れ防止システムの開発】



特許出願中

タブレット端末とカメレオンコードを活用して工具の持込みと持出しをチェックするツールを開発。
作業現場での工具の置き忘れ防止とチェック作業の効率化を実現。

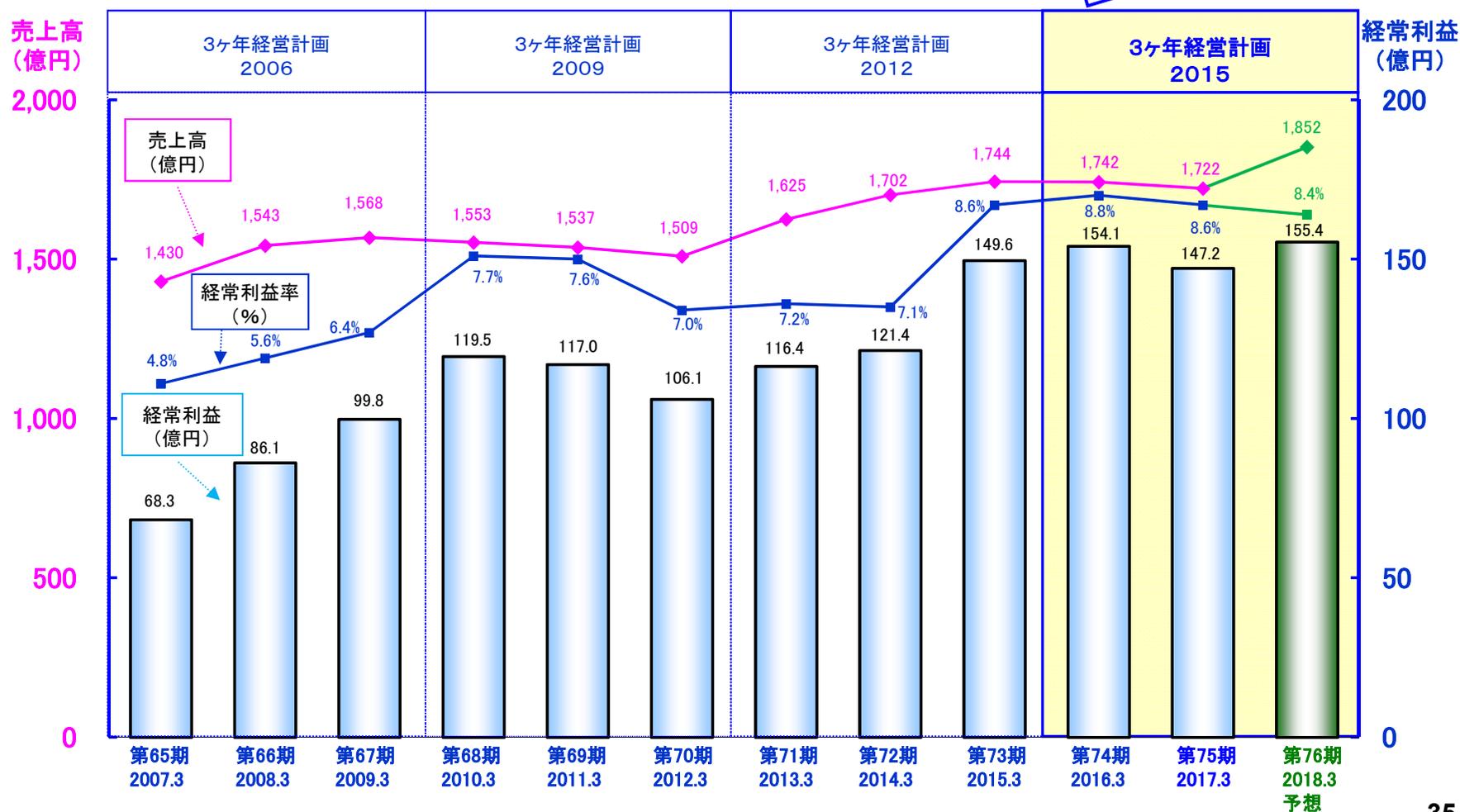
【自動案内機能付小型高所作業車の開発】



自走式小型高所作業車に自動案内機能と段差検知機能を付加。
安全性の向上と作業の効率化を実現。

日本電設3ヶ年経営計画2015

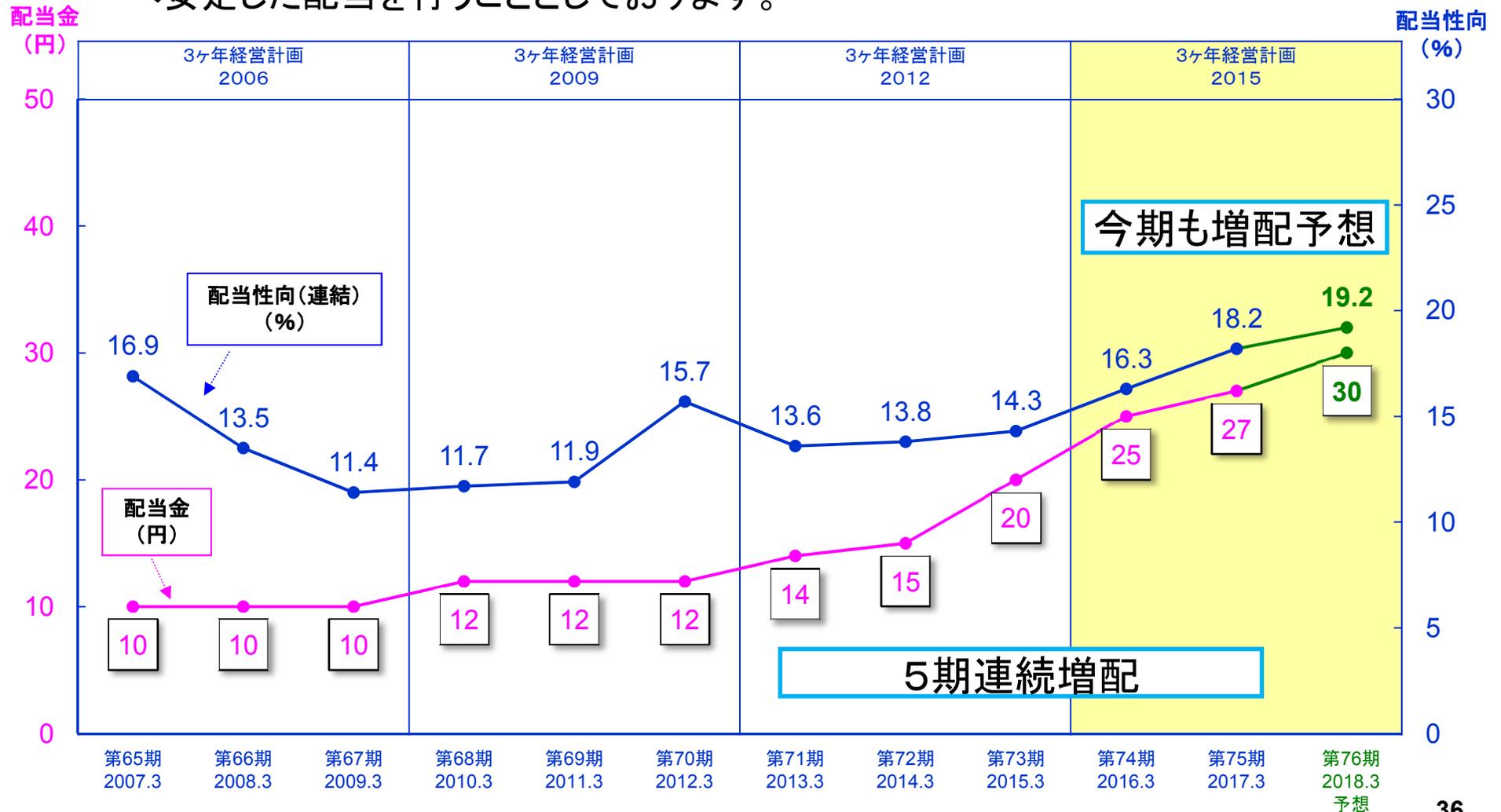
現在の高い経常利益率(8%台)を維持し、
 売上高を拡大することで持続的成長を目指す。



配当の推移

●利益配分に関する基本方針

株主の皆様への利益還元を重要課題と認識し、利益配分については、企業体質強化のための内部留保や配当性向にも配慮しつつ、株主の皆様へ安定した配当を行うこととしております。



さらなる成長を目指して新たな挑戦



中心にあるのは
「人間力」
技術を未来へつなぎます。

 **日本電設工業株式会社**
本店：〒110-8706 東京都台東区池之端1-2-23
Tel03-3822-8811 <http://www.densetsuko.jp>



2018年3月期 第2四半期

日本電設工業グループ

NDKグループ

本資料で記述しております予想数値は、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後のさまざまなリスクや不確定要素の変動および経済情勢等の変化により、実際の業績は本資料における予想と異なる可能性があることをご承知おきください。

【お問い合わせ】

日本電設工業株式会社 広報部

〒110-8706 東京都台東区池之端1丁目2番23号

TEL: 03-3822-8825

FAX: 03-3822-8960

URL <http://www.densetsuko.co.jp/>